



# カシノナガキクイムシによるナラ枯れの特徴

カシノナガキクイムシは、ナラ・シイ・カシ類の幹に穴をあけ、その中で菌を栽培して幼虫を育てるクイムシです。ナラ枯れの病原菌は、カシノナガキクイムシによって木の中に持ち込まれます。

夏に紅葉したかのように真っ赤に変色するのがナラ枯れ被害の大きな特徴です（写真）。しかし、カシノナガキクイムシに加害されても枯れない木もあります。このような木や被害を受けた丸太などは、翌年の被害の感染源となります。



被害の状況（鳥取市安蔵（平成 19 年 8 月））

## 被害拡大を防ぐため、被害丸太の移動はやめてください。



①一見被害材と分かりませんが、よく見ると表面に所々 1.5mm 程度の穴が開いています。



②木口が黒く変色しています。

## 感染源となるため、このような被害木をほだ木に使わないでください。

### 問い合わせ・ナラ枯れ被害連絡先

- 日南町 農林課 0859-82-1114
- 日野町 産業振興課 0859-72-2101
- 江府町 農林課 0859-75-6610
- 日野振興センター 日野振興局 農林業振興課 0859-72-2021

# こんな被害を受けた木を見かけたらご連絡ください！

### ～ナラ枯れ被害防止～



#### 被害木表面の特徴

カシノナガキクイムシが穴をあけ、木屑をたくさん出しています。

爪楊枝の先が入る程度の穴から木屑が出てくる

木屑



菌を運ぶカシノナガキクイムシ 長さ 5mm 程度

ナラ・シイ・カシ類にこのような被害を見かけたら、最寄りの役場か農林業振興課までご連絡ください！

今、県内ではコナラやミスナラ（ナラ類）が枯れており、今秋、日野郡でも初めて被害が確認され、今後の被害の拡大が懸念されます。  
カシノナガキクイムシによる被害木を放置したり、移動させたりすると、翌年、そこを中心に、被害が拡大してしまいます。被害の拡大を防ぐためには、被害木を早く見つけ、破砕などをして、中にいるカシノナガキクイムシの幼虫を駆除しなければなりません。  
鳥取県の貴重な観光資源である大山周辺でも同様に被害が確認されており、早期に徹底した駆除を行う必要があります。